

1. 地域に求められる湖北病院が果たすべき役割

(1) 病院が担うべき役割

湖北病院はへき地医療拠点病院として地域に必要とされる医療に加え、医療と密接に関連する保健福祉の事業を実施しており、地域の暮らしそのものを支える健康政策・予防対策・介護福祉施策等との有機的な連携の取り組みを進め、地域包括ケアシステムを深化させる役割を担っています。

更に、医療の提供を通じて住み慣れた地域に住み続けられる、地域の雇用を創るなど、持続可能な地域の生活や産業に貢献しているといった側面もあります。

このような役割において、湖北圏域地域医療構想調整会議では、**当院を医療と介護、福祉サービスを総合的に提供する地域包括ケアシステムの拠点病院としての役割と機能を確認され、湖北圏域にとって必要不可欠な病院との認識**を共有されたところです。

(2) 特色とする主な機能

医療と介護、福祉サービスを一体的に提供する地域包括ケアシステムの拠点として役割を担ううえで、「医療、介護、福祉の切れ目ないサービスの提供」「地域に密着した機能の整備」を行います。

本施設整備の特色は以下のとおりと考えています。

- ・在宅支援部門の整備
- ・健康管理センターの充実整備
- ・防災の拠点となる整備
- ・人が集う市民のための病院づくり

(3) 診療科

内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、神経内科、総合診療科、外科、整形外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科

※現在の18標ぼう科に**総合診療科**を加えます。

計19 診療科

(4) 診療体制

地域住民が必要とする医療と介護、福祉サービスについて、市内2病院はじめ、県や関連大学と協力、連携しながら診療体制の確保を図ります。

(5) 患者数及び病床数の想定

【想定入院患者数の検証方法】

2018年度の入院患者数及び
外来患者数(ICD中分類別)
※療養病床は2020年度の数値を使用



市北部エリアにおける
入院患者及び外来患者増減率
(ICD中分類別)
※療養病床は療養病棟入院料1の増減率



将来想定患者数
入院119人(2035年)
110人(2045年)
外来268人(2035年)
236人(2045年)

	一般病床 (急性期)	地域包括病床 (回復期)	療養病床 (慢性期)	計
現在	48床	35床	57床	140床